

中山間地域コミュニティ再生重点プロジェクト事業

# 中間報告会

【雲南市】

と き:平成22年3月24日

ところ:あすてらす 1F「ホール」

# 波多地区を雲南市として選定した理由

## ① 小規模高齢化集落が多い

H20.2.29調査日現在で513自治会中28自治会。うち8自治会あり、集落対策を必要とする。

## ② 空き小学校の活用を検討

## ③ 市内の中心部から遠距離地域であり、周辺部の振興策を考える上で有要

## ④ 事業展開を考える上で、豊富な地域資源(比較的新しい校舎、温泉、県営の公園など)がある

## ⑤ 掛合町では“緑のふるさと協力隊”を受け入れている実績があり、地域外の人を受け入れる土壌が出来ている

# 中山間地域コミュニティ再生 重点プロジェクト事業に取り 組んで

- 地域マネージャーの公募
- 彩りプロジェクトの発足
- 地区計画策定に向けての取り組み

# ■ 地域マネージャーの公募

## ☞ 公募の魅力と課題

### ➤ 魅力 ⇒ 【新しい風】

- ①「若者」
- ②「海外での経験」
- ③「外からの目による地域の魅力の再発見」

※ 新しい風は、外からの視点で地域の良さに気づき、新しい事業展開を期待。地域の人材にない技量を持った人が来る可能性もある。

### ➤ 課題 ⇒ 【地域の状況把握と結集】

- ①「地域の実情を把握するには時間が掛かる」

(2年間で地域課題の把握から事業展開をするのは困難)

- ②「人間関係の構築」

〈地域内の団体や人々を繋ぐ(コーディネート)には情報の蓄積と信頼関係の構築が必要〉

## ■ 彩りプロジェクトの発足

- 課題整理や取り組みの検討、企画を行う委員会として設置
- 地域マネージャーが事務局を担う

地域自主組織「波多コミュニティ協議会」の中に従来の専門部に加え、地域の課題をフレキシブル(柔軟)対応する『波多彩プロジェクト』が出来たことは、大きな成果

# ■ 地区計画策定に向けての取り組み

## 合意形成に向けた取り組み

- **ワークショップの開催**  
地区住民に幅広く呼びかけ、地域の資源(良いところ)や課題を点検し、点検マップを作成
- **地区内の15自治会を個別訪問**
  - ・プロジェクトメンバーで分担し各自治会を個別訪問
  - ・検討課題について説明し、意見交換を実施

### 〈合意形成の手順〉

- i). 意見調査
- ii). 地区点検(地域探訪)

済

### 〈合意形成の手順〉

- iii). テーマ設定
  - ① 計画構成となるテーマを設定
  - ② テーマごとのグループ討議
- iv). まとめ
  - ① 全体討議による決定
  - ② 発表会による確認

### 〈地区計画の構成〉

- i). 計画の基本方針 ~何を目指すのか~
- ii). 現在の主な活動 ~今何をやっているのか~
- iii). 地区の良いところ ~良いところをあげる~
- iv). 地区の課題 ~地区の課題は何か~
- v). 地区のまちづくり資源  
~まちづくりに活かせる資源を探す~
- vi). 具体的な計画  
~何のために、何を生かし、何に取り組むか~
- vii). まちづくりを進めるための行動計画  
~どのように進めるのか~

# 雲南市全域への波及

■ 発表の場

## ■ 発表の場

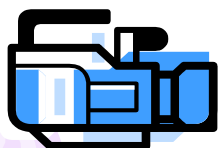
➤ 取り組みを全体に発表する場を作る

第1弾

第5回地域振興補助金活用事業  
報告会で事例発表  
(H22.6.5 予定)



元気発信!  
市民参加のまちづくり



第2弾

ケーブルテレビを活用した特別番組  
を制作・放映 (雲南夢ネットと協議要)

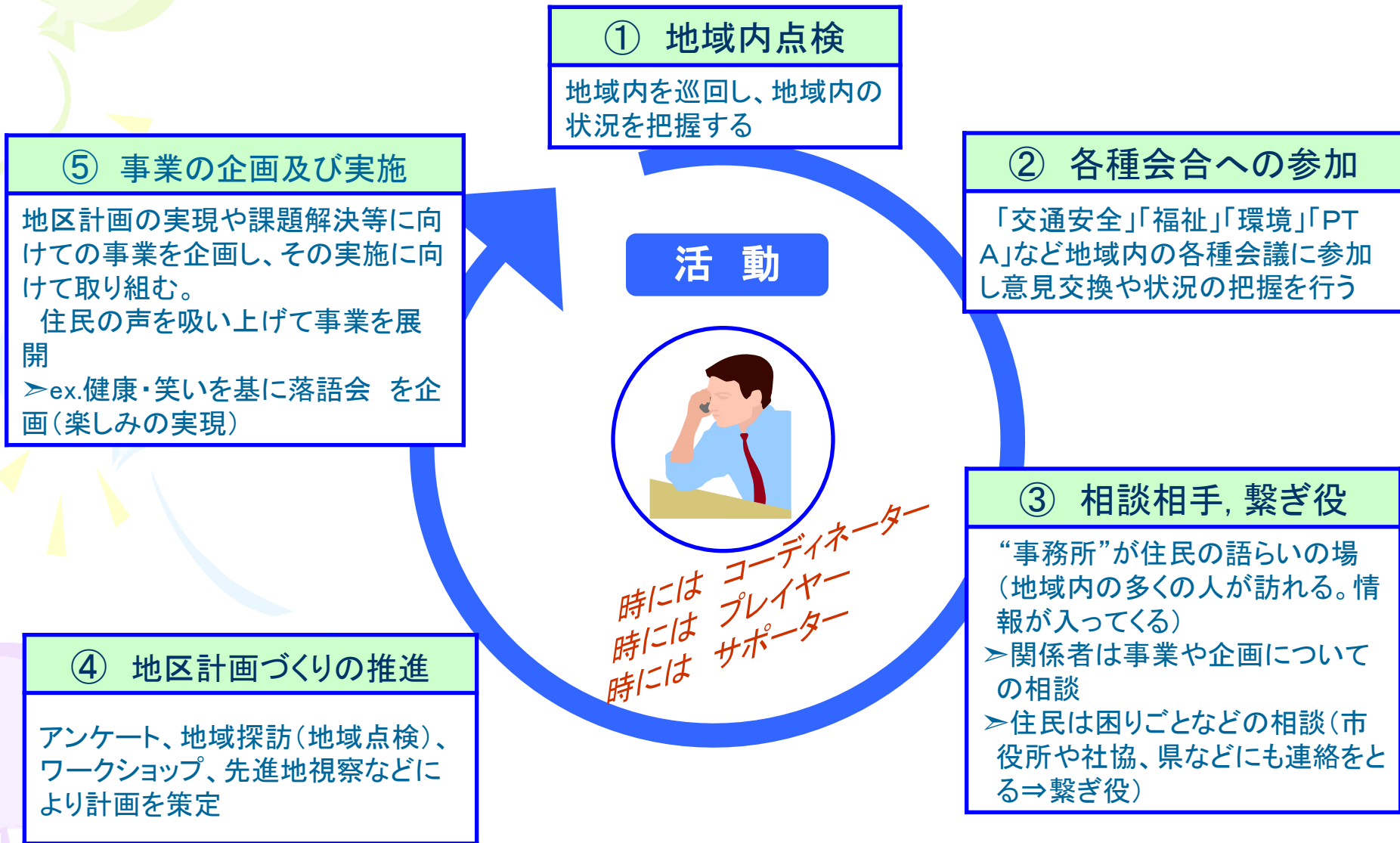


# 重点プロジェクト2年間の活動と雲南市のこれまでの取り組みより

- ▣ 地域マネージャーの活動とスキル
- ▣ 地域づくりのきっかけをつくる地域振興補助金の活用
- ▣ 住民の声をまとめ上げた地域の目標 『地区計画の策定推進』
- ▣ 地域づくりの活動を推進する拠点としての『交流センター』がスタート
- ▣ 地域の企画力と意見集約力の向上に向けたスキルアップ研修の実施

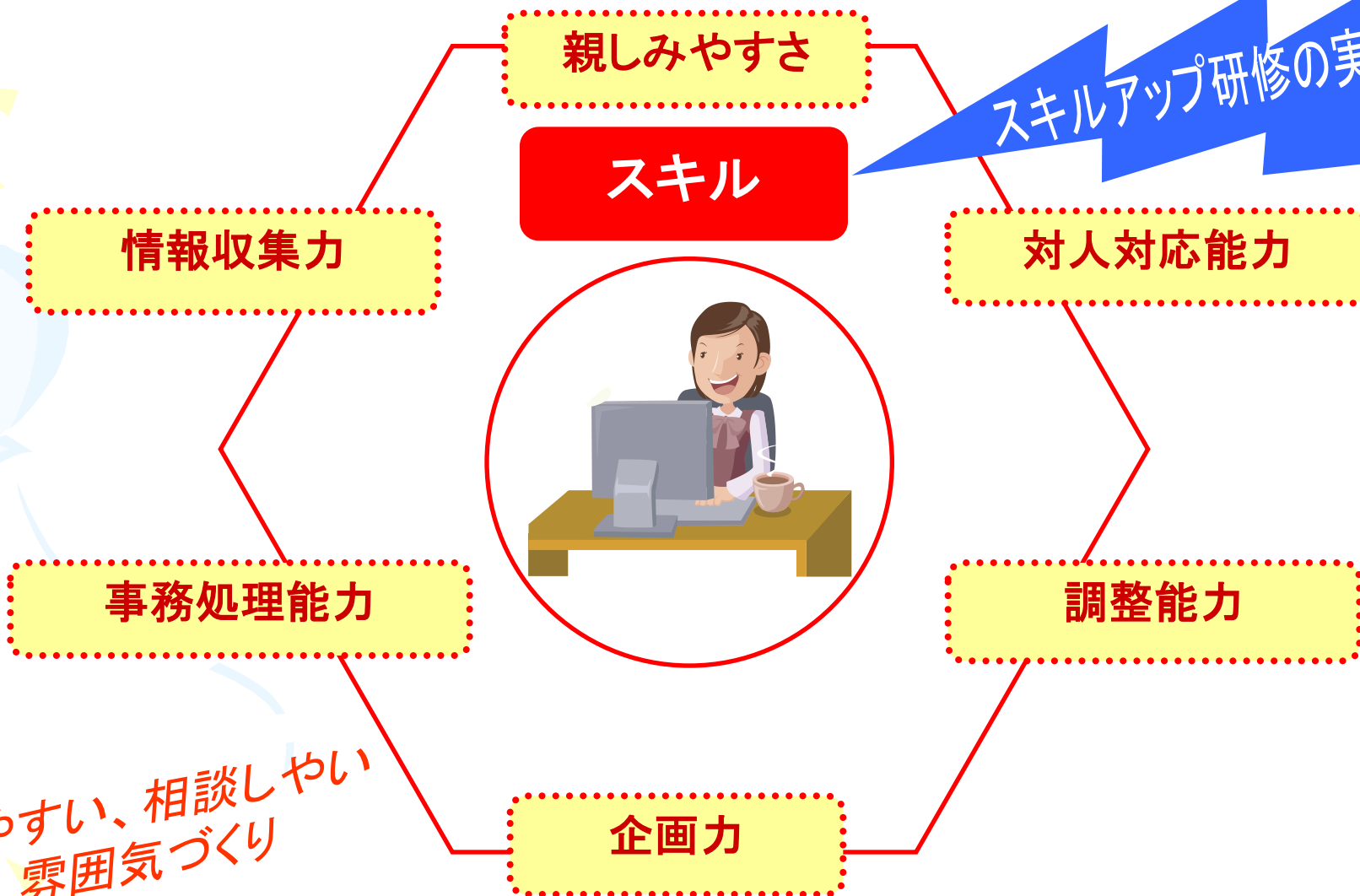
## 地域マネージャーの活動とスキル

### ◇ 雲南市の地域マネージャーの活動



## 地域マネージャーの活動とスキル

### ◇ 地域マネージャーのスキル



訪れやすい、相談しやすい  
雰囲気づくり

☐ 地域づくりのきっかけをつくる地域振興補助金の活用

# 地域振興補助金制度

- ☐ 目的
- ☐ 概要
- ☐ 補助金の流れ
- ☐ 平成20年度の活用状況（グラフ）
- ☐ 市ホームページでの実施事業の公表
- ☐ 活用事業報告集の中から事例紹介

# 地域振興補助金の目的

合併後の新しいまちづくりにおいて、住民自治を維持発展させるために、住民の自主的な活動を支援する事業として創設

## 目的

市民一人ひとりが真に豊かに暮らせる地域社会の実現を目指し、**地域や市民の皆さんが自主的に企画・提案し取り組む活動に要する費用を補助する**

# 地域振興補助金の概要

## ● 交付する相手

地域振興補助金は、地域の振興を推進する**市民活動団体**に対して交付する。

## □ 市民活動団体とは

**市民活動**を組織的かつ継続的に行なう非営利団体で、次に掲げる要件を満たすものをいいます。

(例えば、**地域自主組織**、まちづくりグループ及びNPO法人などがあります。)

(1) 10人以上の構成員がいること。

(2) 事務所の所在地が市内にあること、又は市民活動団体の活動が市内で行なわれていること。

(3) 市民に開かれた団体であること。

(4) 代表者、運営の方法を定款又は規約又は会則で定めていること。

(5) 独立の組織であること。

## □ 市民活動とは

市民が自らの信念と責任に基づいて、自発的かつ自立的に行なう活動であって、営利目的ではなく、地域における社会福祉の増進、環境の保全、教育及び文化の向上、まちづくりの推進、国際協力及び交流推進など市民の不特定かつ多数の利益の増進を目的とすることをいいます。  
(宗教的、政治的宣伝目的のある活動は除きます。)

## □ 地域自主組織とは

地域の自治会、PTA、女性の会、老人会、青少年育成会、地域のボランティア団体その他これに類する団体で構成された組織であって、**おおむね小学校区又は公民館単位を範囲**とする地域の住民が、歴史、文化、環境、福祉、伝統行事等の「地域資源」を活かしながら、地域の生活基盤をより良くするために、住民が参加、協力し活動していくための組織をいいます。

## □ まちづくりグループとNPO法人の定義

- まちづくりグループ 地域自主組織及びNPO法人以外の市民活動団体をいいます。
- NPO法人 特定非営利活動促進法(平成10年法律第7号)に規定するもので、主たる事務所の所在地が雲南市内にあるNPO法人をいいます。

## ● 市民活動団体数

- 地域自主組織 45団体（うち1団体は連絡協議会組織）
- まちづくりグループ 144団体
- NPO法人 6団体

合計195団体（H21年8月末現在）

## □ 地域振興補助金の予算措置状況

平成21年度は、総額57,874千円を予算化。

それを、市全体の施策に7,000千円、総合センター（旧町単位）に50,874千円を配分

※市全体の施策枠（広域枠）では、2町以上にわたって主たる活動を展開する市民活動団体に取り組む事業を、総合センター配分枠は、各町において主たる活動を展開する市民活動団体 が取り組む事業で活用しています。



## 【補助限度額等】

補助対象事業は、地域振興に資するための原則ソフト事業

① **地域自主組織** 1事業あたり原則50万円以内/年額。

補助期間は3年以内。

補助率1年目90%以下 2年目70%以下 3年目50%以下。

② **地域マネージャー設置**、予算の範囲内。

補助期間は3年以内。

③ **まちづくりグループ**、1事業あたり原則30万円以内/年額。

補助期間は3年以内。

補助率1年目75%以下 2年目65%以下 3年目50%以下。

④ **NPO法人**、1事業あたり原則30万円以内/年額。

補助期間は3年以内。

補助率50%以下。

⑤ **NPO法人の設立補助**、原則20万円以内/1回。

⑥ **NPO法人設立後の当該法人の管理運営に必要な経費**、原則10万円以内/年額。

補助期間は2年以内。

# 【補助率、対象事業等の例外】

## ○ 特別認定事業

優先的に地域の課題解決に必要であるとして特別認定事業を定めた場合には、広域枠を使い、活動の展開範囲に係わらず地域委員会連絡会で、事業の適否及び補助金の交付に係る審査を行い交付決定を行います。

### 《平成21年度での募集テーマ》

テーマ	テーマを設定した背景及び課題	1事業当りの補助限度額	補助率
地域自主組織の地区計画策定推進事業	地域の課題解決や魅力の発見とそれを活かした活動を実践することが求められている。その為にも、地区(地域)の計画づくりは欠かせない。 そして、如何に地域を知り、計画策定の段階から多くの参加を得、自分たちの計画を作るかが今後の活動に繋がる重要な作業である。市内全ての地域自主組織での計画策定を推進する必要がある。	20万円以内	100%以下
地域リーダー育成事業	組織を動かすのは人であり、役割を分担しながら強力して活動を牽引する人材を育成する必要がある。 まちづくりにはリーダー育成は欠かせず、専門的な能力の習得及び向上に繋がる実務的な研修を実施していく必要がある。  ※各地域(町)で1箇所程度を想定しています。選定された団体については、地域(町)内の他地区から参加希望があった場合は柔軟に受け入れていただきますようお願い致します。	30万円以内	100%以下
活動拠点施設の有効活用検討事業	平成22年度からスタートする予定の交流センターを、地域にとってどんな役割で、どんな事業を展開し、また住民にとって使いやすくしていくのかなど、有効活用と可能性及び運営などを考えていく。	単独で実施する場合 20万円以内  複数合同で実施する場合 30万円以内	100%以下

## 【補助率、対象事業等の例外】

### ○コミュニティビジネス創出事業

地域自主組織が、地域の課題や活性化に対し、人材や地域資源の活用などにより、ビジネスの手法を取り入れ解決していく事業活動に取り組む場合は、ハード事業についても対象とします。

補助金の額は、1事業当り補助対象経費の額の50%以下とし、補助限度額は、原則50万円／年額とします。

[補助期間は、定めていません。単年度毎で事業の組み立てをお願いしています。]

## 【補助の対象とはならない事業(例)】

従来から通例的に継続して行われている事業の例年通りの開催や事業効果が団体の構成員内にとどまる事業については対象となりません。

例えば、①スポーツ少年団・スポーツ関係団体等の通常の交流大会など、②芸能団体の単なる発表会など、③芸能・文化団体等の単なる作品展示会など、④自治会等の定例的な行事などがあげられます。

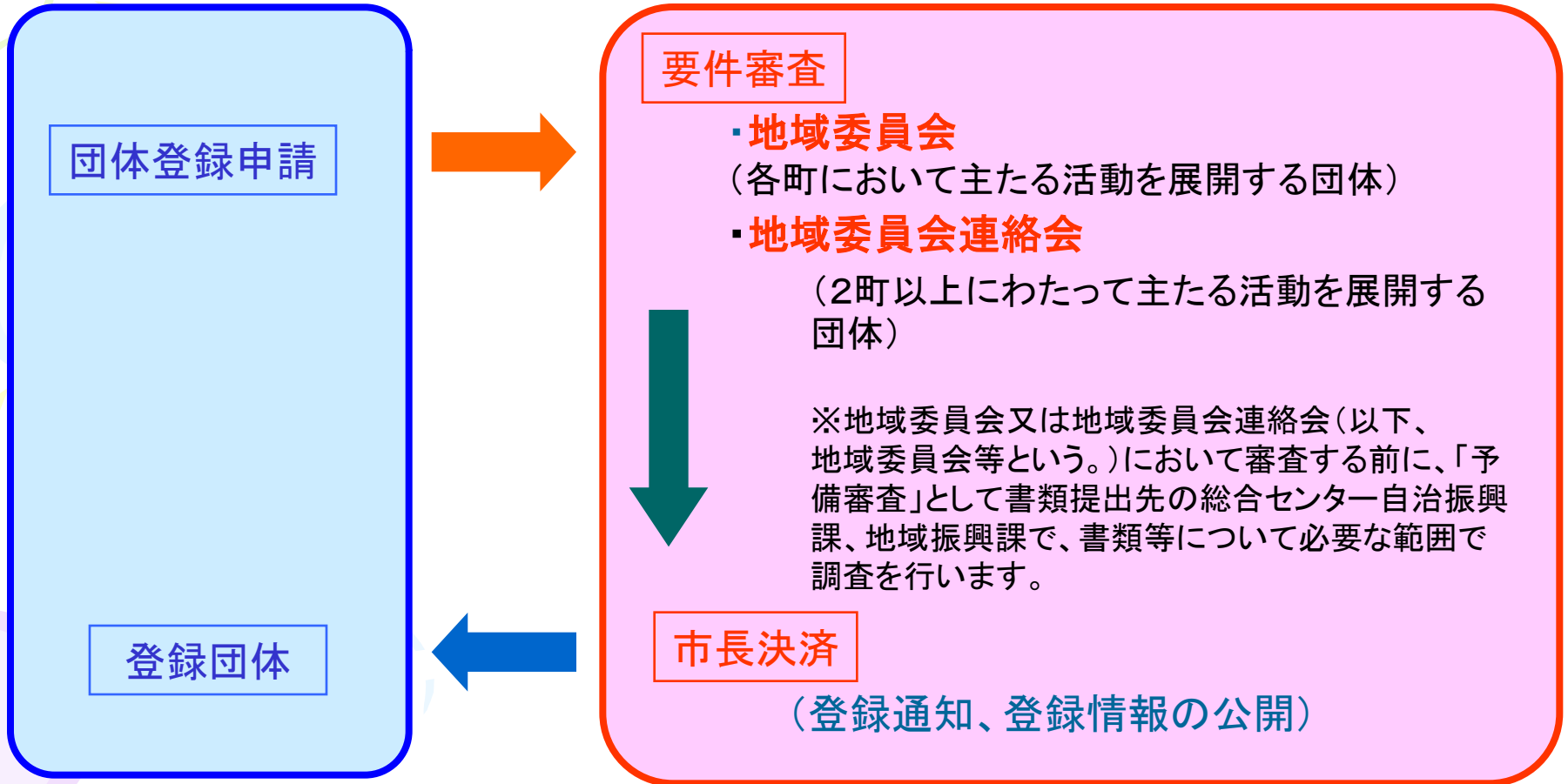
なお、事業を実施することにより、地域振興が図られるか、団体や事業の発展が図られるか、成果の広がりが期待できるか、地域の課題解決につながるかなどから判断しています。

# 地域振興補助金の流れ

## ① 団体登録

市民活動団体

雲南市



② 補助金申請

市民活動団体

登録団体

・事業計画

補助金交付申請

原則、補助金審査の際に  
プレゼンテーション(提案  
の説明)をして頂きます

活動実施

・完了

実績報告書提出

※地域委員会等において実  
施状況のヒアリングを行うこ  
とがあります

活用事業報告会の開催

補助事業の公募

総合センター自治振興課, 地域振興課

要件審査

・地域委員会

(各町において主たる活動を展開する団体)

・地域委員会連絡会

(2町以上にわたって主たる活動を展開する  
団体)

※地域委員会等において審査する前に、「予備  
審査」として書類提出先の総合センター自治振興課、  
地域振興課で、書類等について必要な範囲で調査  
を行います。

市長決済

(事業承認、補助金決定)

(補助金交付)〈概算払い、精算払い〉

補助金額の決定

(確定通知)

申請団体名: ( )

補助事業名: ( )

- 補助事業としての適正を確認 (次のいずれかに☑を記入する)
  - 補助事業として審査対象となる事業である。(2. 事業評価に進む)
  - 補助事業として適切でない。(理由を審査講評欄に記入)

2. 事業評価

審査項目	配点	評価視点	評価内容	評点
社会貢献性	10	公平性	広く市民に開かれた事業か	
		活動領域	事業の対象地域はどうか	
		公益性	主たる受益者が団体構成員となっていないか	
		客観的必要性	時代の要請や社会状況、市民ニーズに即した事業となっているか	
		共感性	市民の税金を使ってその事業を支援することについて、広く市民の共感が得られ応援したくなる内容のものか	
独創性	10	独自性	地域資源あるいは地域の特色を活かした事業となっているか	
		先駆性	新たな市民活動の展開が図られるモデル事業としての要素があり、他の市民や地域への広がりがあるか。或いは期待できるか。	
計画性	10	事業の具体性	事業の内容が明確であり、収支予算に整合性があり、妥当かつ適切に計上されているか	
		事業の目的と効果	事業の目的と効果が明確であり、成果指標の設定も適切か	
		適切な予算配分	旅費、委託費、工事請負費、備品購入費への予算配分は適切な配分となっているか	
団体の適正	10	自立性	会費の徴収や参加者負担など自助努力はされているか	
		事業実施の実務的な能力	事業の実施体制が整っているか	
		団体の活動実績	これまでの活動実績はどうか	
継続性	10	継続性	事業が一過性でなく、継続性が期待できるか	
		将来性	補助事業終了後の自立的事業展開が可能か	
評点合計				

審査講評 (感想及び改善すべき事項等を記入)



区分	評点
高く評価できる	10
	9
概ね評価できる	8
	7
普通である	6
	5
あまり評価できない	4
	3
評価できない	2
	1
問題あり	0

【広域枠審査】  
地域委員会連絡会でのプレゼンテーション及びヒアリングの様子

50点満点で30点以上で可



# 地域振興補助金活用事業報告会

地域振興補助金補助金の活用状況を広く公開すると共に、事業実施団体相互の情報交換或いは情報の受発信の場として開催

第4回(H21.6.6)の活用事業報告会

パネルディスカッションを開催

テーマを「10年・20年先を見据えて、今何をすべきか」

パネリストとして地域マネージャー3名が出演し議論を深めた。

その中から浮かび上がったものは!!

〈地域マネージャー〉

- ◆ 住民から地域マネージャーとして認知され、信頼されることが大切。
- ◆ そのために地域での人間関係の構築が必要になる。
- ◆ そのことにより、各種事業の展開や調整が可能となる。  
その上で、地域マネージャー(集落支援員として役目を含む)の**3つ役割**が導き出されました。

**第4回 地域振興補助金活用事業報告会**

とき **6月6日(土)** ところ **チェリヴァーホール** (木次経済文化会館)

午後**0時50分**~**4時30分**

〈プログラム〉

- ～プレスタート～ (12:50～13:50)
  - ◆ 市民活動紹介番組
- ◆ パネルディスカッション (15:10～16:20)
  - テーマ 「10年・20年先を見据え、今何をすべきか」
  - ◆ コーディネーター NPO法人まちづくりビジネス支援ネットワーク 事務局長 藤原 智 兵
  - ◆ コメンテーター 高槻県中山間地域研究センター 主任研究員 笠松 浩樹 氏 農商市長 遠水 雄一 氏
  - ◆ パネリスト 海部地区振興会(地区マネージャー) 加本 博二 氏 西日 豊 興 会(地区マネージャー) 大坂 弘司 氏 三川豊地区まちづくり協議会(地区マネージャー) 佐々田 一博 氏
- ◆ 閉会 (16:20～16:30)

問い合わせ先: 雲南市役所 政策企画部 地域振興課 電話0854-40-1013



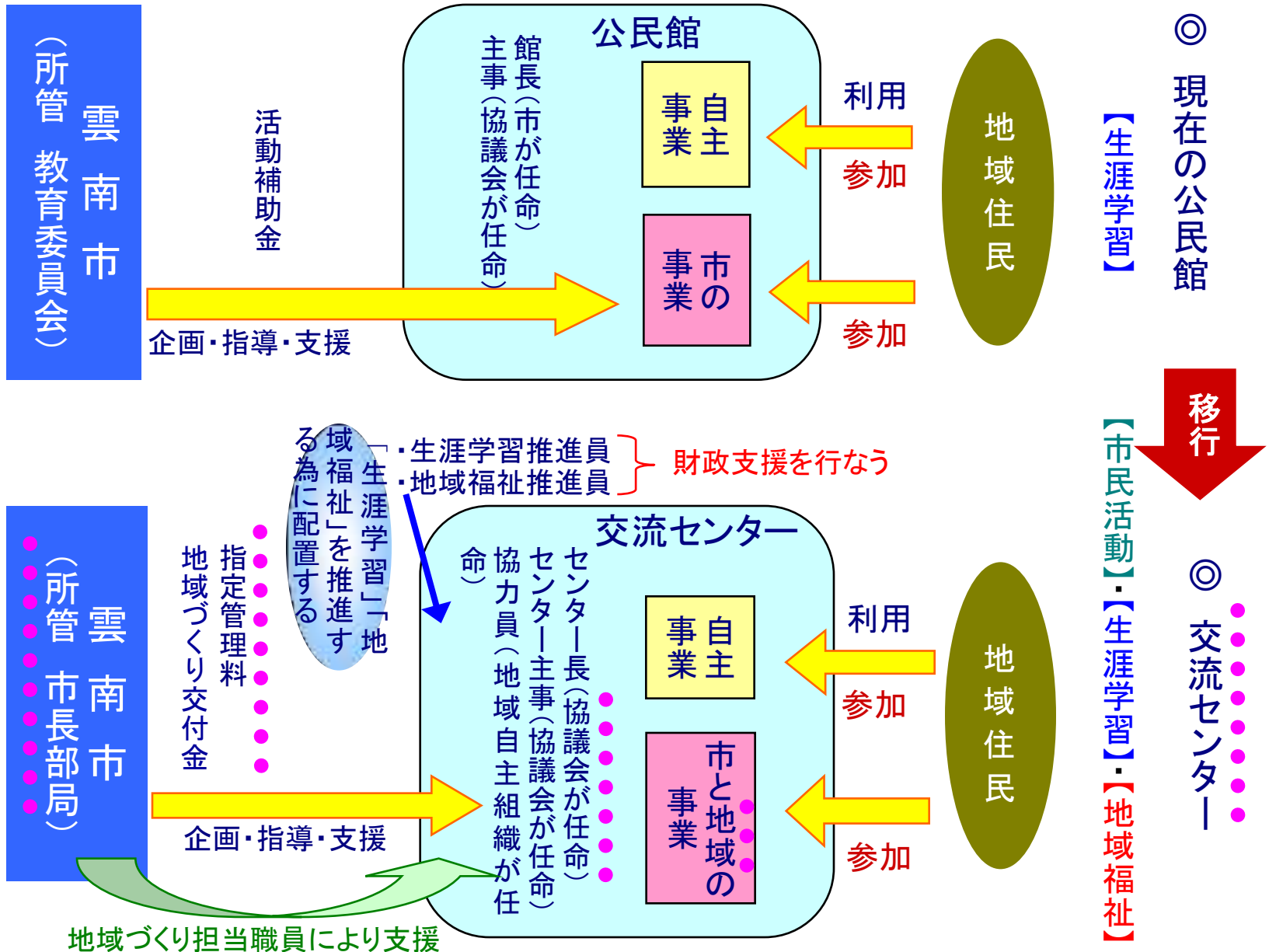
## 地区計画策定に取り組むうえで大切な点

---

- 計画づくりの過程を大切にする。
- ワークショップや個人アンケートを取りいれ幅広い意見を取り入れる。
- 課題を洗い出し、将来像を明らかにする。
- 地域住民が課題を共有する。



■ 地域づくりの活動を推進する拠点としての『交流センター』がスタート  
 地域自主組織の活動拠点 交流センターの設置に向けた取り組み



## ■ 地域の企画力と意見集約力の向上に向けたスキルアップ研修の実施

# 地域をつくるのは人

最終的には人づくりが一番であり、人材があつてこそ各種事業の展開が生まれます  
そこで、特に人材育成の視点から、各種人材育成に繋がる研修会等を提供します

## ☆ まちづくり講座

(一般向け:地域委員会研修〔公開講座〕、補助金報告会基調講演なども含む)

地域で取り組まれている地域自主組織の取り組みを側面的に支援し、“市民が主役の自治のまち”実践に向けて取り組むため、市民への機運醸成と共に、幅広い情報を提供することで、参加者の「気づき」「やる気」「地域の元気」を引き出せる講座として開催する。

## ☆まちづくりリーダー講座

(地域マネージャー等リーダー向け)

住民の皆さんがどのような考えを持っているのか把握することが大切であり、アンケートの実施や意見交換会、ワークショップの実施などを通じて地域内の良いところや課題を見つけ出し、計画的に事業等を推進することが今後必要。

そこで、この地域自主組織の活動を継続発展するためにはリーダー育成は欠かせず、この講座は、専門的な能力の習得及び向上に繋がる実務的な研修とし、併せて参加者相互の情報交換や交流の場として開催する。

**地元学をはじめよう**  
**人と自然と経済が元気になるために**  
 地元学ネットワーク主宰 吉本哲郎氏 講演会

とき **11/12**  
 (木)  
 午後2時~4時15分

ところ  
**チェリヴァホール**  
 3階 大会議室

**視点**  
 地元学とは  
 本県での取り組み  
 地元学がもたらす効果  
 地元学の実践方法  
 地元学を推進するポイント

吉本 哲郎 氏の 経歴  
 1964年 出生。群馬県出身。早稲田大学経済学系卒業。17年。東京都立大助産師。1980年。東京都立大助産師。1983年。東京都立大助産師。1986年。東京都立大助産師。1989年。東京都立大助産師。1992年。東京都立大助産師。1995年。東京都立大助産師。1998年。東京都立大助産師。2001年。東京都立大助産師。2004年。東京都立大助産師。2007年。東京都立大助産師。2010年。東京都立大助産師。2013年。東京都立大助産師。2016年。東京都立大助産師。2019年。東京都立大助産師。2022年。東京都立大助産師。

問合せ先  
 事務局 054-804-1013

主催 霞南市

**地域づくり実践研修会**  
 2009

満足度 86点

日時 **9月12日(土)~13日(日)**  
 9:00 12:00

場所 **吉田ふるさとセンター(田井公民館)**

対象者 **地域自主組織関係者**

～ こんな人におすすめ ～  
 ・地域づくりの推進に力を入れている人  
 ・地域づくりの推進に力を入れている人  
 ・地域づくりの推進に力を入れている人  
 ・地域づくりの推進に力を入れている人

研修の日程  

12日(土)	9:00 - 9:30 開会 9:30 - 10:00 開会・お茶会 10:00 - 10:30 開会・お茶会 10:30 - 11:00 開会・お茶会 11:00 - 11:30 開会・お茶会 11:30 - 12:00 開会・お茶会	13日(日)	9:00 - 9:30 開会 9:30 - 10:00 開会・お茶会 10:00 - 10:30 開会・お茶会 10:30 - 11:00 開会・お茶会 11:00 - 11:30 開会・お茶会 11:30 - 12:00 開会・お茶会
--------	---	--------	---

参加費 (個人1人)  
 心算研修費 5,000円 心算研修費 5,000円 心算研修費 5,000円  
 心算研修費 5,000円 心算研修費 5,000円 心算研修費 5,000円

主催 霞南市

# まちづくりリーダー講座

## スキルアップ実践研修会

平成21年度 第1回

10月 25日 日曜日

日本経営協会  
講師：小室 邦夫

【研修会当日の日程】

受付	9:30～9:50
開会及び自己紹介セッション	9:50～10:00
講演&質疑	9:00～12:00
昼食-休憩	12:00～13:00
講演&質疑	13:00～16:30
閉会	16:30～16:45

～研修テーマ～  
気軽に、楽しく、そしてやる気の出る  
地域活動をめざして

～研修内容～

- ＊経験によるまちづくりの能力を考えよう！
- ＊ワークショップの面白さを楽しもう！
- ＊フィシリテーションを実際にやってみよう！
- ＊思わずワクワク、そんな地域活動の「レバミ」をさがしてみよう！

【研修会当日の日程】

【研修会当日の日程】

ところ：加茂総合センター  
3階 会議室

地域自主組織の関係者  
及び市民活動に関心のある市民の方なら  
どなたでも参加いただけます







活動事例発表

講義



グループワーク



ポスターセッション



# 中山間地域コミュニティ再生重点プロジェクト事業を 取り組んでの今後の展開

---

## ① 地域運営の仕組みづくりの方向性

- ⇒ 「地域自主組織」活動の充実
- ⇒ 交流センターを拠点とした地域活動（運営）のスタート

## ② 上記の取り組みが進むための市としての施策

- ⇒ 地域自主組織等との協働により地域運営や住民生活を支える事業を拡大する

## ③ 財源の確保

- ⇒ 新過疎法と一括交付税及び税源移譲に期待（地方財源の安定化）  
中長期的に事業展開が可能な安定的な財源の確保
- ⇒ 一方で国・県への財源依存度を低め、柔軟で持続可能な仕組みとしていく